

政策提言検証評価



3月24日（本会議最終日）に、議長、副議長、第一・第二常任委員会委員長の4名で町長に政策提言検証評価を提出しました。

- ・政策提言とは
…森町議会では、町政の様々な課題を解決するために、町長に対して具体的な政策を提案する取組を行っています。提言の内容は、令和4年2月発行の議会だよりに掲載されています。
- ・政策提言を提出してから評価するまでの流れ
…政策提言提出後、町当局が提言をどのように施策に反映させたかを検証し、評価します。
- ・評価の基準
…以下の表に照らし合わせて、提言ごとにランク付けを行います。



評価基準表

ランク	検証評価基準	評価
A	必要な取組を着実に実施。その結果、目標達成もしくはほぼ達成	5
B	必要な取組を着実に実施。その結果、達成に向けて具体的な成果が見られる	4
C	必要な取組を着実に実施。その結果、一定の成果が見られ始めている	3
D	必要な取組に着手しているものの、目標達成までには、なお課題が残されている	2
E	取組に向けた検討に着手、目標達成に向けた具体的な取組が今後の課題である	1

提言1の改
認定こども園の推進
幼稚園の預かり保育は、保育の必要が減少し、保育園の需要が増加していることから、特に南地区にある公立幼稚園、幼稚園認定こども園に早期に改めたい。

提言2の改
企業誘致への取組
企業誘致や雇用の創出に力を入れているが、実勢が見えない。森掛川・C周辺に中川工業団地周辺を重点的に、企業誘致を推進する。

提言3の改
学校・工場跡地利用
令和4年秋までに活用方針を示す点は評価するが、検討委員会

提言4の改
デマンドタクシー導入促進
公共交通制度における高齢者及び交通弱者への対応として、乗合デマンドタクシーと同一の制度の早期導入を推進する。

提言5
風水害に対する防災対策
必要な対応を進めていることは評価できる。近年、想定外の災害が増えているため、更なる防災対策の向上や避難所の再点検、地域と連携した防災訓練の推進等を期待する。

提言6
有害鳥獣対策
野生動物に対する正しい対策を普及し、環境整備や補助金制度の見直しを推進すること。

提言7
農産物の取組は着実に進められ、一定の成果が見られ始めている。評価できる。補助金の増額や畜産の振興に力を入れ、引き続き十分な調査研究を進められたい。

提言8
町内会の環境美化活動
町内会の環境美化活動に対する支援の充実及び制度の周知徹底、持続可能な方法を検討すること。

提言9
各種制度の周知等については、PやQや回覧で実施しており、評価できる。この提言14は、今回で検証を終了する。

提言10
移住定住の推進
人口減少や空き家等の増加に対し、早急な対応が必要であり、これまでの取り組みを踏まえ、特

19 もりまち議会だより

もりまち議会だより 18

P18-19 評価する点と課題・期待を明記し、平易にまとめています

ヨミネス しばた議会だより

新発田市議会（新潟県）2022年5月20日発行（通巻143号）

新潟市に隣接し、良質米コシヒカリの県内有数の産地。国指定重要文化財・新発田城や美肌効果があるとされる月岡温泉などを訪れる人も多い。人口9万4544人（2022年6月末現在）。議員数25人。

- ⑥ キャラクター決定の報告
- ⑦ 研修・視察・お知らせ・連載

市民とのコラボで
注目度アップ！

表紙は、地元高校・商業クラブの生徒たち。裏表紙の連載「キラキラ輝く若いチカラ」に登場し、いわゆるカバーストーリー（表紙写真の関連記事）を構成しています。広報紙の愛称やキャラクターの募集と合わせ、こうした市民協働の実践が、議会と広報への関心を高めるきっかけになっている点を他の議会の皆さんも参考にしてください。

特集も、ひと味違う企画です。前半2ページでは、市内4か所の園芸農家を取材。これは普通ですが、後半2ページは市の園芸振興への取組み、議会による関連質疑や提案、農畜産物マップなど、市民にも地域産業のあり方を考えてもらう企画内容になっています。

- ⑤ 決議、請願・陳情
- ④ 会派代表質問・一般質問

ヨミネスしばた

YOMINNESS SHIBATA
議会だより

特集 国芸振興で暮らしを豊かに美しく

第143号



設立新発田商業高校商業クラブの売店「ふくら」(令和4年3月12日)
前左から、渡部美穂さん、宮崎裕さん、前田さん、野村さん、後左から、土田さん、土井さん。

A4判／年4回発行／オールカラー／平均20ページ／部数3万7300部／広報
広聴委員会6人／発行所要日数120日
程度。

全文PDFはこちら→



込み、質疑・討議等を紹介。予算審査では、総括質疑や討論に加え、子育て支援などをめぐる議員間の自由討議も掲載しています。こうした試みは、まだ少数派ですが、議員間で活発に議論を交わしていることを公開する意義は大きいと思います。

代表質問、一般質問は、多くの質問・答弁が2〜3行で簡潔にまとめられ、関心のある読者はその場で動画視聴できる紙面づくりです。請願・陳情や研修・視察はトピックス的にまとめ、読みやすさがあります。いずれのページも議会広報の「型」にはまらない心地良さがありません。

修正ポイントは、特集の内容が充実しているだけに詰め込み型となり、他のページより本文の文字の大きさが小さくなっていることです。後半の統計資料の一部は、二次元バーコードでウェブに誘導するなど、議事関連のまとめ同様、内容を圧縮し、メリハリをつける方向で検討してみようでしょうか。とくに、表紙に続く巻頭企画なので、視覚的にもインパクトのある紙面構成を意識することをおすすめします。

「ヨミネスしばた」は「おうしゅう市議会だより」同様、全国の議会広報紙の中でも独自性のあるポジションを築いています。今後、市民参加企画をさらに進化させ、新しいコンテンツの開発を進めてください。

ロシアによるウクライナ侵略を非難する決議を可決しました

我が国を含む国際社会の重要な関心事にも関わらず、2月24日、ロシアは単独でウクライナへの侵略を開始した。この暴挙は何人もの民間人を犠牲にし、ウクライナ全土を恐怖と悲しみと不安で覆いつくすものであり、断じて許されるものではない。

また、ウクライナの主権と領土の一体性は、ロシア軍の侵襲によって著しく侵害され、このことは、明らかな国連憲章違反であり、国際社会の秩序を根幹から揺るがしかねない極めて深刻な事態である。

加えて、新発田市及び新発田市民は、世界のすべての国が核兵器などの武力から解放され、平和な国際社会を築くことを求める「核兵器廃絶平和都市」であることを宣言した。

しかしながら、この度のロシアによる武力行使はこうした理念をないがしろにするものであり、新発田市と新発田市民を代表する新発田市議会はロシアの侵略を最も強い言葉で非難する。そして、ロシアに対し直ちに攻撃を停止し、部隊を撤退させるよう要求する。

政府におかれては、現地に留邦人の安全確保に全力を尽くすとともに、日本国憲法が掲げる平和主義のもと、国際社会の恒久平和を世界に訴えつつ、速やかな国際平和の実現のため、国際社会と連携し、ロシアには制裁などの毅然たる態度で臨み、ウクライナに対しては人道支援を迅速に行うよう要請する。以上、決議する。

令和4年3月11日
新発田新発田市議会



請願・陳情の処理経過及び結果

議会で採択された請願や陳情について、その処理経過と結果について、14件の報告がありました。そのうち、2件についてお知らせします。

請願

件名 第3次助産の完全履行により悪臭発生を止める措置を求める請願書
採択年月日 平成30年3月13日
処理経過の概要
令和2年8月に市は肥料管理と土壌改良を強化し第4次改善助産を完了した。令和2年の秋・冬は助産を履行できない状況であったが、令和3年の春・夏は、市・農協の協働により、悪臭防止法の規制値を超える回数が大幅に減少した。

陳情

件名 「蔵専開」の附帯施設整備への早期着工と一体的な利活用の早期実施に向けた陳情書
採択年月日 令和3年9月21日
処理経過の概要
附帯施設整備着工の遅延を受け、附帯として有利な活用が実現されることが、国への申請を行うとともに、附帯施設建設に係る予算を令和4年2月定例会に上程した。補正予算の成立及び国の交付金の交付決定の後に工事発注、令和5年3月の整備工事を完了を目指す。

キャラクター『あやめちゃん』に決定！

たくさんの方からキャラクターが寄せられました。ご応募、ありがとうございます。

採用作品

あやめちゃん

「しばた市議会だより」の案内役として議員の皆様と市民の皆様を繋ぐ橋渡しのような存在になれるといいな♪

チャームポイントは
・あやめの髪飾り
・ぱつぱつ前髪
・足袋ブーツ

好きな食べ物は
新発田の和菓子♡

新発田市の花である「あやめ」と市章の「五福蔵」を取り入れたデザインを考えました。



吉川 千遥さん

「新発田市に住んで、この4月から市内のことも関心を持っています。議会報には毎回通っていて、もともと絵を描くことが大好きだったので、少しでも地元の役に立てれば、と思い応募しました。着物をミニにして「現代風」な雰囲気に仕上げました。」

次点作品

あやめめ

新発田に住むアヤメのお姫様です。新発田市の花であるアヤメをメインに、市の木であるサクラを添えてデザインしました。



遠藤 希さん

「ヨミネス(議会だより)」を見た先輩が、絵を描くことが好きに私に、応募してみたら、と勧めてくれました。新発田の花のあやめや、加治川の水をイメージして作りました。特にあやめの色の紫色にこだわりました。」

